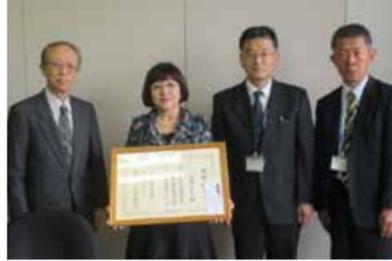


4月16日 人権擁護委員
三浦京子さんに法務大臣感謝状贈呈

今年3月末まで人権擁護委員を3期9年務めた三浦京子さん（泗水町富）に、法務大臣から感謝状が贈られました。

三浦さんは、学校の教師の経験を生かしながら、これまでさまざまな人権に関わる相談業務に従事。子どもの人権委員会の委員として、特に子どもや障がい者の人権問題に力を注ぎ、人権思想の普及高揚に貢献しました。



左から近藤安隆熊本県山鹿人権擁護委員協議会長、三浦さん、丸野隆司熊本地方法務局山鹿支局長、工藤信也人権啓発課長

4月10日 菊池渓谷山開き
癒やしのシーズン到来!

菊池渓谷のシーズン到来を告げる山開きが開催され、関係者など約100人が集まりシーズン中の安全を祈願しました。昨年は、国内外から約23万人の観光客が菊池渓谷を訪問。菊池渓谷を美しくする保護管理協議会の江頭実会長は「菊池渓谷は癒やしの里の源であり、豊かな農産物を生み出す命の源でもある。この豊かな自然を次の世代に残していきたい」とあいさつしました。



菊池渓谷の安全を祈願しておはらいが行われました

4月17日 全日本マスターズレガッタ
全国のボートファンをおもてなし

来年5月に本市で開催予定の第9回全日本マスターズレガッタの実行委員会設立総会が、七城公民館で開催されました。この大会は27歳以上の幅広い年齢層の選手が参加するボートの祭典。毎回約千人が出場する全国屈指のイベントです。会長の江頭実市長は「菊池ファンを増やすための絶好の機会。おもてなしの体制を整え、菊池の良さをアピールしていきたい」とあいさつしました。



総会には行政、観光協会、民間企業など多くの関係団体が参加しました

4月16日 図書寄贈
後藤之俊さんが歴史書を寄贈

合志市在住の後藤之俊さんが、収集していた中世の歴史関連の図書約120冊を市に寄贈しました。後藤さんは本市出身で、40年余り離れていたふるさとへの思いから集めていた図書の寄贈を決意。図書を受け取った原田和幸教育長は「歴史的資料としても貴重な本をありがとうございます。子どもたちにふるさとへの自信と誇りを持ってもらえるよう活用したい」とお礼を述べました。



図書を寄贈した後藤さん（左）と目録を受け取る原田教育長

4月18日 農事組合法人久米設立総会
泗水町に初めての農事組合法人が誕生

農事組合法人設立総会が久米区公民館であり、出資者やJA菊池など約40人が参加しました。農事組合法人での集落営農は、泗水町では今回が初めて、菊池市では3カ所目となります。

同法人には集落内の農業者8戸16人が参加。荒木義臣代表理事は、「何を作るかみんなが計画を立てたい。規模拡大も大事だが、良い品物を作ること大事」と抱負を述べました。



出資者などが参加し盛大に開催されました

4月18日 「西部の森さくち」第6回植樹祭
企業と地域と行政の森づくり

西部電気工業(株)が旭志の市有林にヤマザクラとヤマモミジの苗木1,400本を植樹しました。この活動は、「西部の森づくり」の一環として、平成22年度から同社と市が森づくりを協定を結び取り組んでいます。本年で6回目を迎え、今までに9,500本の木を植えてきました。今回は、旭志小みどりの少年団20人も参加。菊池に緑が増えることに感謝をしながら苗木を植樹しました。



植樹祭には子どもから大人まで大勢の人が参加しました

3月22日 菅原神社遷宮祭
30年に1度の遊蛇口区遷宮遷座祭

遊蛇口区で30年に一度の遷宮遷座祭がありました。遷宮行列には地域の子どもから高齢者まで111人が参加。飾り馬を引く馬子と呼ばれる人たちが、馬子唄を歌いながら練り歩きました。

遊蛇口区には竜門ダム建設に伴い引っ越してきた住民がほとんどです。馬子唄にはダムの湖底に沈んだふるさとに思いをはせる歌詞があり、沿道の観客も聴き入っていました。



七つ布団を担いだ飾り馬と馬子は、遷宮行列の華の一つ

3月29日 日吉神社遷宮祭
25年に1度の日吉神社遷宮祭

泗水町住吉の日吉神社で25年に一度行われる日吉神社遷宮祭がありました。住吉日吉神社は802年、桓武天皇が近江国（現在の滋賀県）にある日吉山王社を勧請して建てられたと伝わっています。

遷宮行列は神社を出発して飛熊、上住吉、南住吉を巡り、泗水田中に設置されたお旅所で奉納。遷宮祭のあとは境内でお祭りが催され、大勢の参加者でにぎわいました。



神社から飛熊に向かう途上で立ち止まり、馬子たちが威勢よく馬子唄を歌いました

3月30日 ソチ五輪代表の菊池4姉妹が来庁
市民の皆さんの応援に感謝

菊池一族の末裔とされ、ソチ五輪スピードスケート代表の菊池彩花さんら4姉妹が市役所を訪れ、これまでの声援に感謝の思いを伝えました。市は昨年のソチ五輪でパブリックビューイングを企画。多くの市民が熱い声援を送ったことに対し、「皆さんの応援に感激しました。ご縁に感謝します」とお礼を述べました。4人は菊池神社と菊池渓谷にも足を運び、菊池を満喫しました。



左から原田和幸教育長、明美さん、彩花さん、母親の初恵さん、江頭市長、悠希さん、純礼さん

3月17日 森の中のまちプロジェクト
「市民力」でまちに緑が増えました

隈府の温泉街にある公園に緑の空間が誕生しました。まちの中に癒やしの空間をつくる「森の中のまちプロジェクト」の一環で行ったものです。作業には東正観寺区の住民など約30人が参加。地被植物を約1時間かけて植栽しました。参加した住民は「きれいになって良かった。訪れた人の憩いの場になれば」と話しました。今後も官民協働で癒やしの空間づくりを進めていきます。



作業に参加した東正観寺区の皆さん

3月23日 菊池高生が企業を訪問
菊池高生が情報技術を学習

菊池高校商業科の2年生（当時）8人が、住吉工業団地に1月から稼働を開始したメルコ・ディスプレイテクノロジー(株)三菱電機液晶事業部を訪問し、最新の情報技術を学びました。企業活動に接する機会が少ない高校生が、ICT（情報通信技術）がどのように活用されているかを学ぶために行われたものです。他にも電話やインターネットに関する最先端技術を実体験を通して学びました。



さまざまな製品の紹介や製造ラインを周り、最新情報技術を見学しました

3月29日 自主防災組織活動
藤田区で防災訓練

藤田区で防災訓練があり、住民84人が参加しました。訓練は大型台風の接近に伴い、市から避難勧告が出されたとの想定で実施。避難場所や経路、役割分担などを確認しました。続いて菊池広域北消防署職員の指導の下、消火器を使った消火訓練も実施。参加者は「消火器を使う機会は減多にないので、体験できて良かった」「消火器は意外と短い時間しか出ない」などの声がありました。



消防署員の指導を受け消火訓練を行う住民